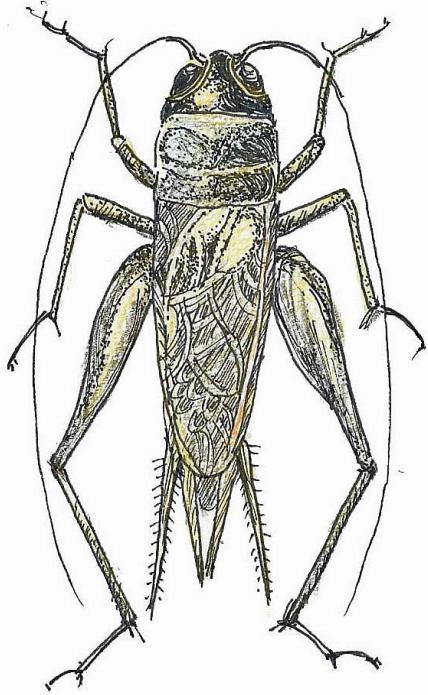


# 秋の鳴く虫

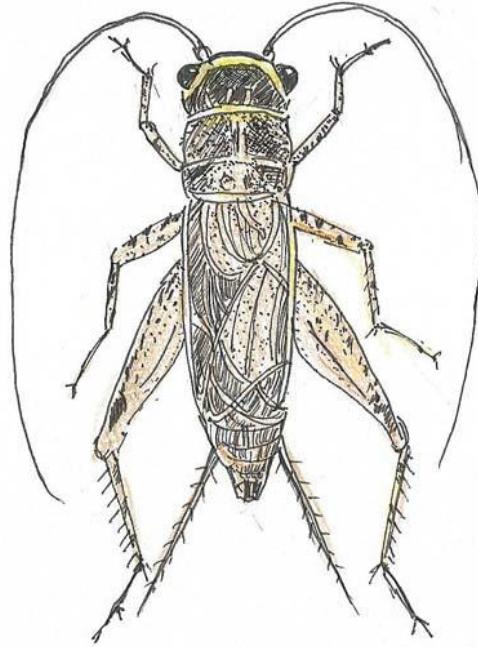
## エンマコオロギ

体長28～35mm。畑や野原など草丈の低い草地に生息する大型のコオロギ。顔がエンマ大王に似ているのでこの名がついた。鳴き声「コロコロコロリーリー」と美しい鳴き声で鳴く。(コオロギ科)



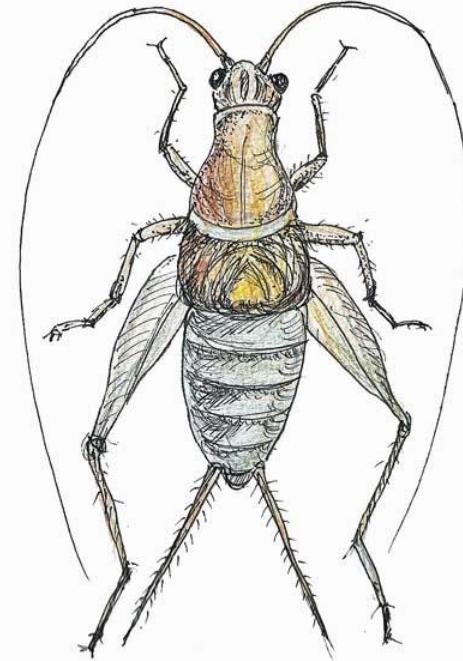
## ハラオカメコオロギ

体長12～15mm。草地・畑・芝生などに生息する。雄の顔面が平べったく、しもぶくれに見えるところからこの名がついた。鳴き声「リリリリ・リリリリ」と4～5声ずつ区切って鳴く。(コオロギ科)



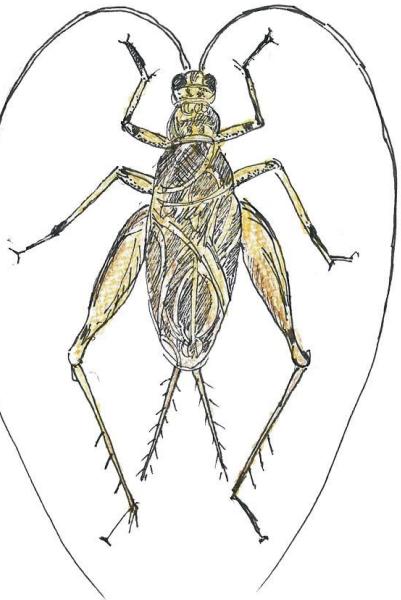
## カネタタキ

体長7～11mm。住宅地の生垣や庭木などに生息する。生け垣など低めの木の上で小さくチンチンと鳴く。鳴き声が鉦(カネ)の音に似ているのでこの名がついている。(コオロギ科)



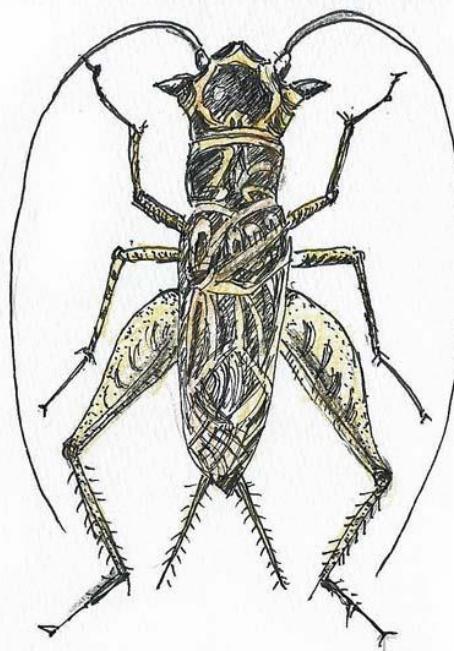
## クサヒバリ

体長6～8mm。林縁の低木の葉上などに生息する。淡褐色で、頭部や脚に黒色条がある。日中も夜も、フィリリリリリ... と、長く鳴く。(コオロギ科)



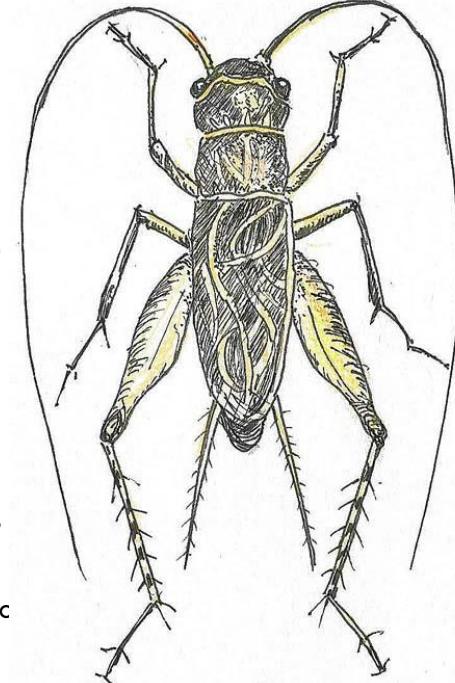
## ミツカドコオロギ

体長18～20mm。草原に生息する。雄の顔は平らで頭に角が生えているような独特な姿のコオロギ。鳴き声は「リッリッリッリッ」と6～7声ずつ区切って鳴く。(コオロギ科)



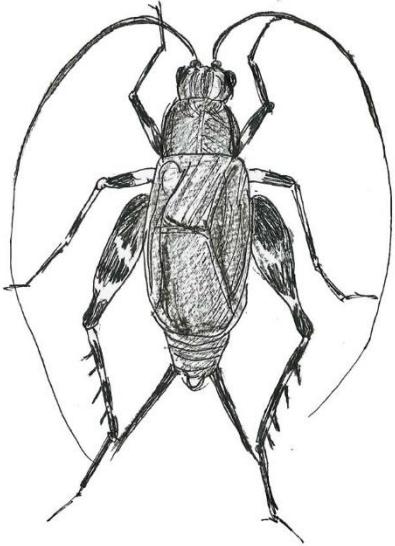
## ツツレサセコオロギ

体長12～20mm。草原・畑などに生息する。夜間から明け方に「リッ・リッ・リッ...」と続けて鳴く。(コオロギ科)



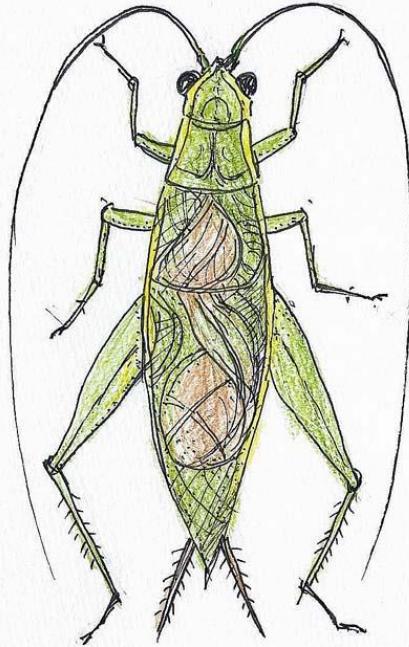
## マダラスズ

体長6mmの小型のコオロギ。もともと普通に見られる種類で、畑、草丈の低い草地などにすむ。ジージージーと規則的に区切って鳴く。(コオロギ科)



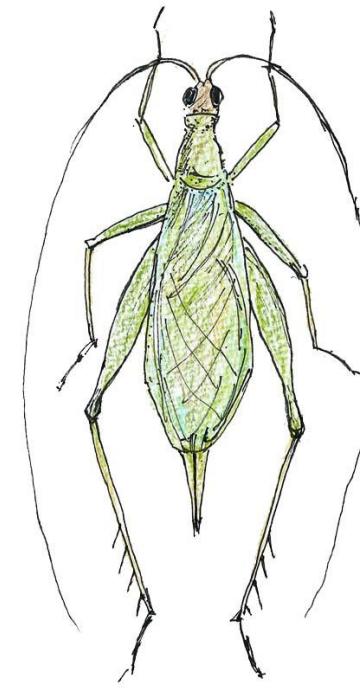
## アオマツムシ

体長20-~25mm。落葉広葉樹などに生息する緑色したコオロギ。コオロギ類にしては飛ぶことがうまい。外来種で分布が広がり激増している。夜間、樹上でリーリーリーと強い声で鳴く。(コオロギ科)



## カンタン

体長11-~20mm。全身が薄緑色でスマートでかよわい感じがする。山地の深い草むらに生息する。植物の葉や、小昆虫の死骸などを食べる。オスは、ルルルルル...と、低く美しい声で鳴く。(コオロギ科)

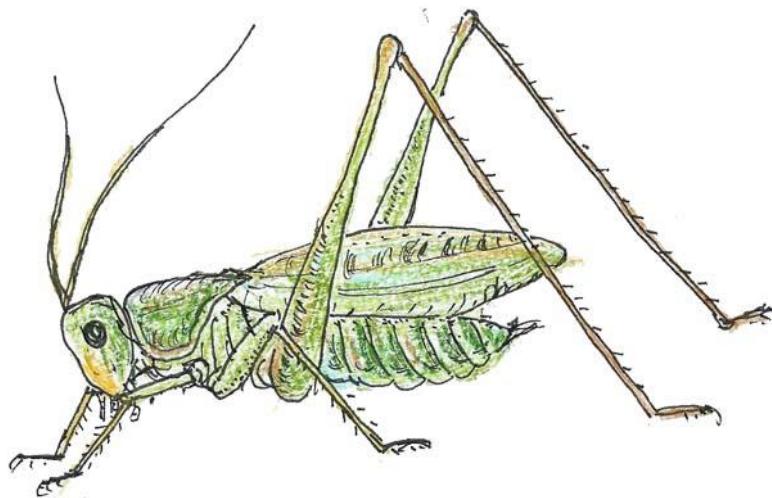


## 鳴く虫の仲間

コオロギとキリギリスはバッタも含めてバッタ目(直翅目)、コオロギ亜目というグループに属し、このグループは鳴く虫として親しまれている。

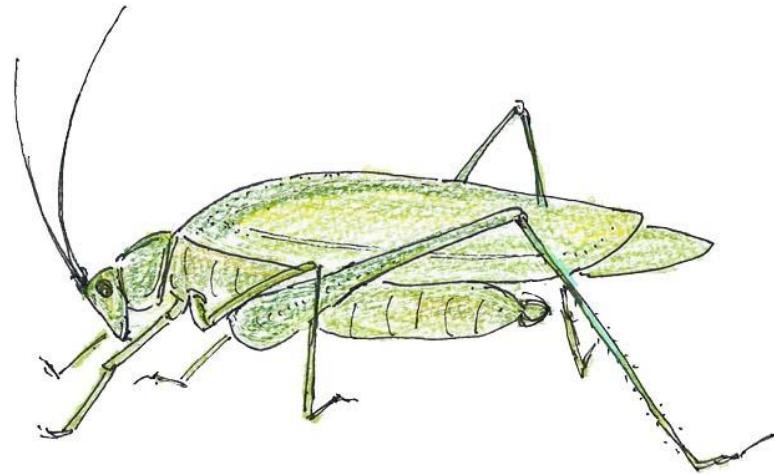
コオロギもキリギリスも鳴くのは基本的に雄で、複雑な構造の左右の前翅を擦り合わせて発音する。

コオロギの仲間は、体色が暗色で体形は上下に扁平であり、触角は糸状で非常に長い特徴がある。キリギリスの仲間は、主として植物上で生活するものが多く、縦に平たい体形をしている。触角は長く、体色は、大多数は緑色か褐色をしている。



## ヒガシキリギリス

体長26~42mm。8月頃から鳴き始める。草むらなどに生息する。食べ物は植物の葉、他の昆虫などを捕えて食べる。鳴き声はギー・チヨン。(キリギリス科)



## ヒメクダマキモドキ

体長19~23mm。南方系のクダマキモドキ。樹上性で常緑樹や植物上に普通に見られる。全身緑色。鳴き声はジツ、ジツまたはシュ、シュ。(キリギリス科)